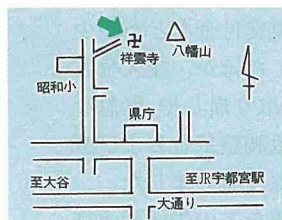
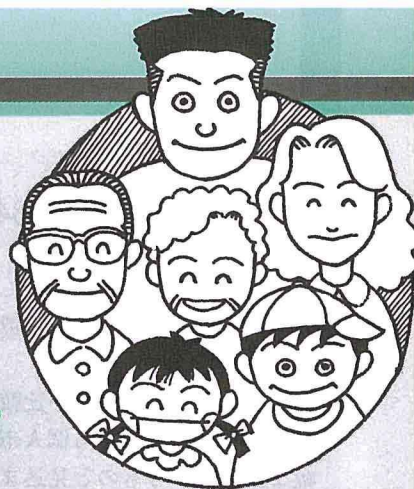


◀昭和11年のシダレザクラ。当時桜の北側にあった本堂から撮ったもので、写真の右側の太い樹の部分がない。

# ふあい 広場



このシダレザクラは、明暦年間（一六五五〜一六五七）、寺の本堂再建の記念として植えられたと言われています。「昭和23年、北側にあった本堂が焼けた際、木の一部も焼け、また、年々枯れた部分も多くなり、樹勢が衰えてしまいました。しかし、これまで定期的に腐れ止めや肥料などを施し、大切な財産として守り、残っている枝には、毎年、見事な花を着けています」昭和32年8月30日、県指定天然記念物。

このシダレザクラは、明暦年間（一六五五〜一六五七）、寺の本堂再建の記念として植えられたと言われています。「昭和23年、北側にあった本堂が焼けた際、木の一部も焼け、また、年々枯れた部分も多くなり、樹勢が衰えてしまいました。しかし、これまで定期的に腐れ止めや肥料などを施し、大切な財産として守り、残っている枝には、毎年、見事な花を着けています」昭和32年8月30日、県指定天然記念物。



## 「祥雲寺のシダレザクラ」

東戸祭1丁目 安藤明之さん

文化財ウォッチング